

日ノ岡だより



The rainy season²

今年度は4月に介護報酬の改定があり、バタバタした空気をひきずったまま新年度がスタートして、ホッと一息ついたら梅雨の季節になっていたような感覚です。梅雨は英語でRainy Season (レイニーシーズン「雨季」と書きますが、皆さん知っていましたか？ 私は38歳の今まででつきり英語でもPlum (梅) Rain (雨)かと思っていました。

そんな自分のアホさ加減にも制度の改正にも梅雨にもめげず、雨季雨季(ウキウキ)してまいりましょう。なんのこっちゃ

まずはデイサービスセンターと居宅介護支援事業所からお知らせとお願いです。

冒頭に申し上げましたとおり、今年度は介護報酬の改定が有まして、業務の手順が若干変わったり、いろんな加算が新たに設けられたりといった変更が行なわれました。ご利用者の皆様に直接関わるような変更については予め書面にてお知らせしているとおりですが、なかでも居宅介護支援事業所では今春より「特定事業所加算Ⅱ」を新たに算定することとなりましたことを改めて報告させていただきます。

この加算はより質の高いケアマネジメントを実施している事業所に主任ケアマネなどの人員配置や定期的な職員会議の開催、一人あたりのケース数の制限などをその算定要件として新たにつくられたものです。(ご利用者の負担は一切ありません)当法人もこの加算を算定するからにはこれまで以上に質の高いご支援ができるよう精進する所存ですので、ご利用者の皆様からも厳しい眼での忌憚のないご意見、ご苦情を賜りたく思います。



歴史ウオーク出発前の集合写真

続いて地域包括センターから報告です。昨年からのボランティアの筋トレ指導員の方々のご協力を得て

始まりました「いきいき筋トレ教室」ですがお陰さまで毎回20名前後の皆様にご参加頂き、順調に回を重ねることができました。さらに今年度からは筋トレ指導だけにとどまらず、山科区介護予防推進センターの協力も得て、筋トレ終了後に「栄養についてのお話」を10分ほどさせて頂いております。毎月第4土曜日に定期開催しておりますので、思い立ったらいつでもお気軽にご参加下さい。またこの教室は介護保険や京都市の特定高齢者事業とは違いますので、特に対象の方を限定することなくどなたでもご参加頂けます。(参加費



筋トレ教室実施中の様子です。

も無料です。ただし、参加に当ってはご自分で当センターまで来所できることが条件となります)

また、5/23にはすっかり恒例になった「山科歴史ウオーク」を開催しました。いつもの筋トレ教室よりは少し参加者も少なめではありましたが、山科の歴史についてあらたな発見をしながら新緑の中気持ちよく歩いていい汗をかくことができました。(歴史探訪の頁で詳しく書いております)

山科区の歴史探訪 疎水の歴史豆知識

前回歴史ウォークで散策した疎水周辺の史跡について 復習です。(ちょっとしつこい!?)

📍本邦初鉄筋コンクリート橋について



以前にもご紹介した今年106歳を迎える本邦初の鉄筋コンクリート橋とその記念碑です。ちなみに記念碑の文字は疎水の主任設計技師である「田辺朔朗博士」によるものらしいです。

へー じゃあ二番目はどこにあるんやろう?と調べていたら・・・

なんとすぐ近所にあります。永興寺へ通じる橋です。実は第1号の橋はこの橋を造るための試験的な橋だったとのこと。山科でワンツーフィニッシュを飾っているとは! なんとなく誇らしげな気分になりますね。

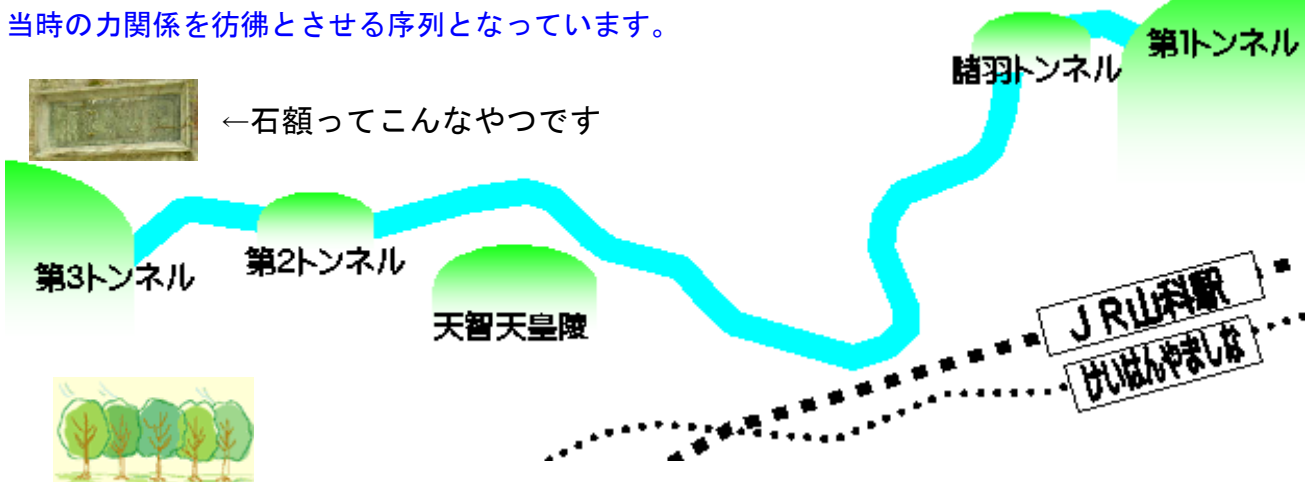
📍疎水の石額文字について

山科の疎水には下の図のように第1～第3のトンネルがあり、それぞれの入口と出口に後年に明治時代の偉人が書いた石額が飾られています。(諸羽トンネルは昭和45年に旧国鉄の工事に伴い作られたものなので、石額はありません)

少し興味深いのが、その石額の順番です。

第1トンネルの取水口から順に伊藤博文、山縣有朋、井上馨、西郷従道、松方正義、三条実美となっているのです。伊藤、山縣、井上は長州出身 西郷、松方は薩摩出身 そして三条は公家出身です。

初代総理大臣を輩出した長州出身者がもっとも力があり、次いで薩摩出身者、そして公家出身者と当時の力関係を彷彿とさせる序列となっています。



いよいよ、このコーナーに書くネタが枯渇してきた感がありますが、つづきはまた次号で・・・

地域包括支援センターだより

包括センターの創立時から最若手としてこれまで包括センターの切り盛りをしてきていた上山社会福祉士ですが、昨年度末で退職し、語学とボランティアについて学ぶためイギリスに旅立ってしまいました。今回は少し紙面を割いて上山元社会福祉士からのメッセージと、期待の新人西山社会福祉士からのご挨拶を掲載したいと思います。

こんにちは(^ ^)日ノ岡地域包括支援センターで3年間務めてまいりました上山です。地域のみなさま、日ノ岡センターをご利用の方、一緒に現場で働かせて頂いた職員さん、3年間支えて下さり有難うございました。本当にあなたがいての私です。



誰にでも「3年」という月日は変わらずあったかと思いますが、私にとってのこの3年は「学び・歩み・そして新たな一歩を踏み出す」3年で、本当に充実した日々を過ごすことができました。私の好きな言葉に『有為転変』があります。『すべてのものごとは変わっていくこと』という意味ですが、いろいろな出会いがあり、また別れがあり、そうしてまた出会うのだなあとしみじみ感じています。

そしてまたこの3年を振り返る中で『振り返る』ことの大切さに気づくことができました。振り返ることにより、達成したこと・できなかったこと・新たな目標が見えてきます。みなさまも日々続く生活の中で、たまには振り返ってみるのもいいかもしれませんね。

この新聞が皆様の手元に届く頃、私はイギリスの地で必死になっていることでしょうか(負けず嫌いなのです・・・)。けれどみなさまと一緒に過ごした日々を胸に頑張っていこうと思います。みなさまもそれぞれの人生を大らかにお過ごし下さい。またどこかでお会いしましょうね!! 本当に有難うございました(^ ^)

続いて期待の大型新人「西山元子」から着任のご挨拶です。

西山元子です。身体は太いです負けません! 気は極細だからすぐ泣きます。泣かせないで下さい。生まれつき方向音痴・運動音痴・リズム音痴ですが、さほど気にしておりませんので、心配ご無用です。

食えること、歩くこと、温泉に入ることは大好きで放っておいても大丈夫です。

仕事は嫌いですから前世はナマケモノだったかもしれません。将来はヤマンバになってみたい。こんな普通の私にはなぜか変わった仲間が多く、そして今回の仲間も?・・・どうぞよろしくね!



・・・アナタが一番変わっと思いますが。それに大丈夫! 気も極太です(編集担当)

「今回紙面の都合で居宅介護支援センターだよりはお休みです」

デイサービスセンターだより

『日ノ岡農園へ行こう!』 ~今年もツタンカーメンの豆ごはんおいしかったです~



昨年の秋に種を蒔いたツタンカーメンのえんどう豆が、おかげ様で大豊作となりました。土作りから始め、種蒔き～水やり～雑草引きなど、皆さんの日ごろのお世話の甲斐あってのことと思います。本当にご苦労様でした。



最後は皆さんと一緒に収穫し、恒例の豆ごはんにして召し上がっていただきました。普通の豆ごはんとは一味違うツタンカーメンの豆ごはんは、赤飯のように赤くなりとても美味です。ご家族さまも機会がありましたらご賞味下さい。

『午後のひととき!』 ~レクリエーションは楽しいひとときです~



お昼ごはんの後は、コーヒーを飲みながら談笑されたり、リハビリをされたり、庭に出て植木のお手入れをされたり、皆さん思い思いの時間を過ごされています。

2時からは、レクリエーションの時間です。ゲーム、作品づくり、頭や身体の体操などなど、週替わりでお楽しみを用意しています。左の写真は『カニレース』の様子で、すべて職員の手づくりです。カニは牛乳パックを使って利用者さんに作っていただき、自分のカニが出走するとなると応援にも熱が入り、皆さんの目の色も変わり競馬場さながらの雰囲気となりました。



○●新しい仲間が加わりました●○



中村 典子 介護福祉士、介護支援専門員

山科苑で三月まで働いていました中村典子と申します。緑寿会に入職して十年目の節目の年に日ノ岡デイへ異動となり、あらためて“初心忘れず”でがんばりたいと思っています。

新しい場所で、新しい職員と新しい利用者さんに包まれて期待と不安が入り交じった状態でのスタートでしたが、皆様がとても優しく接して下さり、とても楽しく過ごさせていただいております。

健康だけが取り柄な私です。利用者さんに負けないように笑顔で常に明るく、皆さんと楽しい1日を作りたいと思っておりますので、未長くよろしくお願いたします。

《今後の行事予定》

◎ 6月29日～7月3日 『七夕 短冊に願いを込めて…』

◎ 8月3日～7日 『夏祭り 昔懐かしいお祭り』

◎ 9月14日～18日 『敬老お祝い会 おかげさまで九周年』

【ご家族様のご参加をお待ちしております】

